

速報！ 2019 年度予算案 閣議決定される！

12 月 21 日、政府は 2019 年度予算案を閣議決定し、公表した。文部科学関係の予算編成の概要は、次の通りである。

2019 年度文部科学関係予算編成（初等中等教育局関係）の概要（全日教連要約・抜粋）

《 教育行政推進のための基盤の整備 》

事 項	2019 年度予算額	前年度比較 (▲: 減額)
義務教育費国庫負担金（詳細：下《教職員定数の改善》参照）	1 兆 5, 200 億円	▲27 億円
専門スタッフや外部人材の拡充 （詳細：下《教員以外の専門スタッフ・外部人材の活用》参照）	135 億円	13 億円

《 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力の育成 》

情報教育の充実	7 億円	0. 2 億円
道徳教育の充実	42 億円	7 億円
いじめ・不登校対応等の推進	69 億円	5 億円

《 生涯学び、活躍できる環境の整備 》

切れ目ない支援体制の構築に向けた特別支援教育の充実	26 億円	2 億円
---------------------------	-------	------

《 学びのセーフティネットの構築 》

幼児教育の無償化に向けた取組の段階的推進	701 億円	418 億円
高校生等への修学支援	3, 873 億円	32 億円

《 Society5. 0 に向けた人材育成について 》

地域との協働による高等学校教育改革推進事業	3 億円	新 規
-----------------------	------	-----

《 教職員定数の改善 》 … 2017. 3 義務標準法改正による基礎定数化に伴う定数の増減 (+246 人) 含む

○ 学校における働き方改革や複雑化・困難化する教育課題への対応	合計 1, 456 人
(内訳) ・ 小学校の英語専科指導の充実	+ 1, 000 人
・ 中学校生徒指導体制の強化	+ 50 人
・ 学校総務・財政業務の軽減のための共同学校事務体制強化 (事務職員)	+ 30 人
・ 主幹教諭の配置充実による学校マネジメント機能強化	+ 30 人
・ 貧困等に起因する学力課題の解消	+ 50 人
・ 「チーム学校」の実現に向けた学校指導体制の基盤整備 (養護教諭、栄養教諭等)	+ 20 人
・ 統廃合・小規模校への支援	+ 30 人

《 教員以外の専門スタッフ・外部人材の活用 》

事 項	2019 年度	前年度比較
・ 部活動指導員の配置促進	9, 000 人	+ 4, 500 人
・ スクール・サポート・スタッフの配置促進	3, 600 人	+ 600 人
・ スクールカウンセラー (SC)、スクールソーシャルワーカー (SSW) の配置促進	SC: 全公立小中学校 27, 500 校 SSW: 全中学校区 10, 000 人	+ 800 校 + 2, 500 人

《 切れ目ない支援体制の構築に向けた特別支援教育の充実に関連して 》

・ 学校における医療的ケアを行うための看護師配置拡充	1, 800 人	+ 300 人
----------------------------	----------	---------

※ 予算案の詳細につきましては、右のQRコードや下のURLから閲覧できます。是非御覧ください。

http://www.next.go.jp/a_menu/vosan/h31/1408722.htm



文部科学省は 2019 年度概算要求において、新しい学習指導要領の円滑な実施や学校における働き方改革に向けて、学校の指導・運営体制の効果的な強化・充実を図るとして、2, 615 人の教職員定数の改善を目指した。

閣議決定された予算での教職員定数の改善は 1, 456 人と、当初の予定を 1, 000 人以上下回る結果となったことは非常に残念である。しかし、直近 5 年をみると、平成 26 年度 703 人、平成 27 年度 900 人、平成 28 年度 525 人、平成 29 年度 868 人、平成 30 年度 1, 595 人となっており、2 年連続で、1, 000 人を超える改善がなされることになった。また、教員以外の専門スタッフ・外部人材の活用 (看護師の配置拡充を含む) では、いずれの事項においても昨年度の実績を上回る配置が行われることになった。厳しい財政下において、これらの改善が実現したのは、全 11 次に亘る全日教連の要望活動及び、その声に応えるという文部科学省の強い思いがあったからこそである。

全日教連は、子供と向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるために、引き続き、十分な教育予算が確保されるよう、関係省庁へ粘り強く要望活動を展開していく。